

## 第2章 プロジェクトの概要

### 2.1 当該セクター

#### 2.1.1 運輸セクターの現状

##### (1) 予算

表 2.1-1 に国家予算に関する歳入、歳出の 10 年間の状況を示した。この表から、運輸セクターの歳出はその他の開発関係予算の 1991 年以前で 10 数%、1992 年以降で 10 数%から 20 数%の範囲で伸びていることが判る。また、1995/96 の歳入は 30,373.5million Rs. で、歳出は 37,542.4million Rs. であり、歳出が歳入を大きく上廻っている。この傾向は他の年度も同様である。

表 2.1-1 運輸セクターの予算

(In Million Rs.)

年 度		1987/88	1988/89	1989/90	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	1996/97*		
歳入	税 収	6287.2	7283.9	8176.3	9875.6	11662.2	15371.4	19660.0	21668.0	24424.3	17201.6		
	税収外	1489.6	2003.6	2553.6	3637.1	3485.8	4209.3	4945.1	6225.1	5949.2	3941.8		
	歳入計	7776.8	9287.5	10729.9	13512.7	15148.0	19580.7	24605.1	27893.1	30373.5	21143.4		
歳出	一 般	4622.1	5676.5	6672.1	7570.1	9905.4	11484.1	12409.2	19265.1	12561.9	24181.1		
	開 発 関 係	運 輸 セ ク ター	道 路 関 係	958.4	1392.0	1090.6	1375.6	2059.3	2499.5	2991.2	2277.1	2859.2	4752.7
			橋 梁	112.4	114.3	81.4	202.0	85.1	53.7	109.5	383.2	920.7	226.7
			航 空 関 係	143.0	316.2	410.3	394.2	221.1	290.8	262.5	316.8	2060.9	299.4
			そ の 他	-	34.5	7.8	7.7	15.5	-	-	33.4	127.7	26.4
			計	1213.8	1857.0	1590.1	1979.5	2381.0	2844.0	3363.2	3010.5	5968.5	5305.2
	そ の 他	8214.2	10471.7	11407.4	14000.0	14131.8	16569.6	17825.0	16784.4	19012.0	21237.4		
	計	9428.0	12328.7	12997.5	15979.5	16512.8	19413.6	21188.2	19794.9	24980.5	26542.6		
歳出計	14050.1	18005.2	12669.6	23549.6	26418.2	30897.7	33597.4	39060.0	37542.4	50723.7			
備 考		1996/97 は最初の 9 ヶ月間のデータ											

出典：Financial Comptroller General Office, Economic Survey 1997/98, Ministry of Finance

表 2.1-2 は、外国援助の動向である。最近その傾向は、ローンがグラントの資金を上廻っている。

表 2.1-2 外国援助による資金

(In Million Rs.)

Sources	1988/89	1989/90	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	1996/97	1997/98*
<b>1. Bilateral</b>	<b>3532.3</b>	<b>6605.4</b>	<b>3494.9</b>	<b>7643.2</b>	<b>12650.0</b>	<b>7402.3</b>	<b>9744.8</b>	<b>10355.9</b>	<b>19768.0</b>	<b>8065.3</b>
Grant	3215.3	6078.3	2734.4	7643.2	12386.0	7267.1	9670.0	8558.1	10946.3	6609.9
Loan	317.0	527.1	760.5	-	264.0	135.2	74.8	1797.8	8821.7	1455.4
<b>2. Multilateral</b>	<b>6870.7</b>	<b>9224.6</b>	<b>2170.5</b>	<b>13440.9</b>	<b>7876.7</b>	<b>5769.9</b>	<b>3132.1</b>	<b>6181.4</b>	<b>19875.0</b>	<b>17812.0</b>
Grant	1543.7	160.5	35.5	419.9	3611.7	158.9	1496.8	2508.3	2797.4	5613.7
Loan	5327.0	9064.1	2135.0	13023.0	4265.0	5611.0	1635.3	3673.1	17077.6	12198.3
<b>3. Total</b>	<b>10403.0</b>	<b>15830.0</b>	<b>5665.4</b>	<b>21084.1</b>	<b>20526.7</b>	<b>13172.2</b>	<b>12876.9</b>	<b>16537.3</b>	<b>39643.0</b>	<b>25877.3</b>
Grant	4759.0	6238.8	2769.9	8061.1	15997.7	7426.0	11166.8	11066.4	13743.7	12223.6
Loan	5644.0	9591.2	2895.5	13023.0	4529.0	5746.2	1710.1	5470.9	25899.3	13653.7

\* First Nine Month

Source: Ministry of Finance.

## (2) 道路の整備状況

表 2.1-3 ネパール国の道路の整備状況 (1998 年)

道路クラス	地域	舗装	砂砂利	土地
Highway (国道) (51 路線)	E.D.R	458	159	43
	C.D.R	660	63	6
	W.D.R	513	-	-
	M.W.D.R	257	102	181
	F.W.D.R	317	-	146
	計	2,205	324	376
Feeder Road (補助幹線道路) (51 路線)	E.D.R	125	93	26
	C.D.R	368	123	96
	W.D.R	156	138	156
	M.W.D.R	156	152	196
	F.W.D.R	-	98	97
	計	660	604	571
District Road (地区道路)	E.D.R	54	558	1,108
	C.D.R	203	961	1,611
	W.D.R	29	206	720
	M.W.D.R	19	180	541
	F.W.D.R	1	131	293
	計	306	2,036	4,273
Urban Road (都市道路)	E.D.R	126	107	132
	C.D.R	578	315	185
	W.D.R	174	49	95
	M.W.D.R	20	34	4
	F.W.D.R	11	20	18
	計	909	525	434
総計		4,080 km	3,489 km	5,654 km
舗装 + 砂利道 + 土道 = 13,223 km				

Note : E.D.R. = Eastern Development Region

C.D.R. = Central Development Region

W.D.R. = Western Development Region

M.W.D.R. = Mid-Western Development Region

F.W.D.R. = Far-Western Development Region

N.A = Not Available

Source : Nepal Road Statistics, Department of Roads.

表 2.1-4 各運輸セクターの距離、貨物・乗客運送量および運行状況

Item	1988/89	1989/90	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	1996/97	1997/98
1. Air ways (R.N.A.C.)										
a. International Route Coverage (in km)	22088	22788	19999	21766	21766	30580	36300	36300	36044	36044
b. Passengers in Domestic Flight	295149	290468	308084	309429	277470	335924	288273	257723	226131	238002
c. Passengers in External Flight	309044	317095	325841	339338	355628	345034	411182	436924	424579	446537
d. Cargo in Domestic Flight (in Ton)	791	853	745	887	1153	1872	1373	658	621	592
e. Cargo in External Flight (in Ton)	6577	6308	4110	4585	5147	6055	5377	5019	3927	3766
2. Railways										
a. Available Facilities (in km)	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51
b. Number of Passengers (in '000)	1378	1100	1068	876	754	653	1122	1281	1416	1748
c. Goods Transported (in M.Ton)	16000	13000	14554	5000	10000	9151	9036	7060	7334	7524
3. Ropeways										
a. Available Facilities (in km)	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
b. Goods Transported (in M.Ton)	12490	10000	10712	11724	7710+	11917	10893	6918	3347	N.A
4. Roadways										
a. Available Facilities (in km)	7007	7330	8328	N.A	9534	N.A	10724	11237*	11714*	13223

\* Includes only Roads Built by DOR in the respective Year.

+ The Ropeway was closed for rehabilitation purpose under French aid protocol in 1991.

N.A – Not Available.

Source : Royal Nepal Airlines Corporation, Nepal Transport Corporation and Department of Roads.

### (3) 道路行政

道路法 (Public Road Act. 1974) はこれまでの国道法 (1964 Highway Act) などを統合して 1974 年に制定され、現在までに 2 回改定されている (木全専門家報告書)。全体 5 章 34 条からなり、

第 1 章 : 序章として適用と用語定義

第 2 章 : 道路の種別、道路区域、権原取得

(用地買収は別法 Land Acquisition Act に規定)

第 3 章 : 工事中の土地一時使用、車両通行制限 (重量)、植栽義務、

道路隣接地における土砂・砂利の採取権 (道路建設・維持管理用)、

道路管理 (落下物等障害物の排除 (原則原因者負担))、

道路区域内行為の制限・許可 (原則原形復旧)、等

第 4 章 : 開発税の徴収、対象、評価等 (未実施)

第 5 章 : 雑則

道路構造令（Nepal Road Standards）に規定されている最低道路用地幅（The minimum right of way）は、原則として（都市部人家連旦地域、橋梁区間などは例外）、次のようになっている。

	Right of Way	建築物間の距離
国 道	50m（道路中心から両側 25m）	62m
補助幹線道路	30m（道路中心から両側 15m）	42m
地区道路	20m（道路中心から両側 10m）	32m
都市道路（4車線）	50m	
同（2車線）	30m	

出典：木全専門家報告書（平成 11 年 12 月現在）

なお、開発税については他の法律により徴収するため、道路特定財源にはなっていないが、現在 Road Board を設立して道路利用者からの税金（ガソリン税、ディーゼル油税）と通行料収入、免許取得更新手数料などを道路管理に充てる動きがある。（木全専門家報告書による）

道路事業は公共事業運輸省道路局の所管であるが、地区道路の管理については地区開発委員会に、都市道路の管理についても各自治体に権限を委譲すべく調整中である。これらの考え方は、道路局内に 91 年に設立された MRCU が提言してきているが、今だ実現できていないところに当国の大きな問題がある。DDC、VDC では財源・マンパワーともに絶対的に不足しており、引き続き道路局が管理業務を実施している。ただし、一部の DDC では、外国の援助予算（GTZ、SDC など）を受けて住民参加型道路づくりを実施しようとしている。

#### (4) 自動車登録台数

ネパール国内の車の保有台数は現在約 22 万台であり、その半分以上（56%）がカトマンズバレーの保有台数である。特にオートバイは 64%、普通車は 66%、テンポ（三輪タクシー）は 72% がカトマンズに集中している。車種別ではオートバイが圧倒的に多く 5 割超の 11.5 万台、普通車は 5 万台に満たない。

また、1993 年の保有台数 130,955 に対して、1998 年は 218,632 台であり、5 年間で 1.67 倍伸びている。この間の年間の伸び率は 11% 程度である。

表 2.1-5 車の保有台数の変化

車種	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	1996/97	1997/98	98/94
オートバイ	62,117	71,518	85,373	98,006	110,312	115,868	1.78
普通車	31,483	34,526	39,787	42,780	46,919	47,541	1.49
トラック	13,226	14,855	16,006	16,913	18,504	18,458	1.40
トラクター等	9,160	10,974	13,157	14,414	15,679	16,327	1.71
バス	5,134	5,984	6,470	7,078	7,977	8,336	1.55
テンポ	4,638	4,879	4,996	5,181	5,525	5,605	1.19
ミニバス	2,100	2,183	2,262	2,440	2,570	2,577	1.22
その他	3,097	3,432	3,508	3,860	3,611	3,920	1.17
計	130,955	148,351	171,559	190,672	211,097	218,632	1.67

出典：「ネパール王国カトマンズ都市交通環境対策調査」平成 11 年 3 月、建設省、  
 (社)国際建設技術協会  
 : 「Statistical Year Book of Nepal 1999」

(5) 人口

表 2.1-6 に各地区毎の人口および人口密度を示す。中央地区は、当該プロジェクトの対象地域であるカトマンズ市およびラリトプール市が含まれ、これらの市については比較のため特記している。カトマンズ盆地はこれにバクタプールを加えた地域となる。1981 年と 1991 年のセンサスデータを比較すると、カトマンズ市への人口の集中が加速されていることが知れる。中央地区には全人口の 33% が集中している。カトマンズ盆地内では、バクタプールの人口の伸びが他の 2 市より小さい。特に、1981 年には人口密度はバクタプールがカトマンズ市を上廻っていたが、1991 年には逆転している。カトマンズ、ラリトプール両市へ、人口、物流、経済活動の集中、集積が進んでいることをうかがわせる。

表 2.1-6 各地域およびプロジェクト対象地域の人口・人口密度

	1981 年		1991 年			
	人口 (人)	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	人口 (人)	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )		
東地区 (East. Dev. Reg.)	3,708,923	130.3	4,446,749	156.3		
中央地区 (Cent. Dev. Reg.)	全体	4,909,357	179.1	6,183,955	225.6	
	カトマンズ盆地	カトマンズ市	422,237	1,069.0	675,341	1,709.7
		ラリトプール市	184,341	478.8	257,086	667.8
		バクタプール	159,767	1,342.5	172,952	1,453.4
その他	4,143,012	156.3	5,078,576	191.6		
西地区 (West. Dev. Reg.)	3,128,859	106.4	3,770,678	128.3		
中央西地区 (Mid. West. Dev. Reg.)	1,955,611	46.1	2,410,414	56.9		
遠西地区 (Far. West. Dev. Reg.)	1,320,089	67.6	1,679,301	85.9		
全 国	15,022,839	102.1	18,491,097	125.6		

出典：「Statistical Year Book of Nepal 1999」 Central Bureau of Statistics

## 2.1.2 上位開発計画の概要とプロジェクトとの関係

上位開発計画関連の資料として次の3点が挙げられる。

- ① The Nignth Plan (1997 – 2000) : July 1998, National Planning Commission
- ② Approach to the Eight Plan 1992 – 97 : April 1992, National Planning Commission
- ③ Priority Investment Plan (PIP) Project (Master Plan for Strategic Road Network and Rural Transport) Final Report, Vol.1 – Main Text, February 1997

ここでは、最新の国家計画である The Nignth Plan の開発計画および運輸関係の計画である PIP の概要を紹介し、当該プロジェクトとの関係について述べる。

### (1) The Nignth Plan (9th Plan) の概要

9th Plan は1章の8th Plan のレビューから始まり、全部で15章から成る。その中で運輸に関する項は12章の「Development of Infrastructure」の中の「12.3 Transport」に該当する。

#### ① 8th Plan のレビュー

表 2.1-7,8 に 8th Plan での実績を示す。これらの表から次のことが言える。

- ・全道路建設計画 1,778km に対して 61.4% の 1,092km の建設を行った。
- ・上記の 1,092km の内訳は国道 471km (目標の 61.7%)、補助幹線道路 (Feeder roads) 487km (同 53.2%)、都市道路 (Urban rods) 134km (同 134%) であり、都市道路の整備が目標以上に進んだ。
- ・また、上記の舗装延長は、119km (目標の 63.6%)、砂利道 231km (同 60.9%)、土道 742km (同 61.2%) となっている。
- ・その他 8th Plan で触れなかった道路の建設が計 1,771km ある (舗装 372km、砂利道 537km、土道 862km)。
- ・したがって 8th Plan 期間中の総道路建設は 2,863km となり、目標に対して 161% の進捗となった。

また、橋梁については次の進捗となった。

- ・自動車用道路目標 25 橋に対して 50 橋が建設された。
- ・吊り橋目標 500 橋に対して 138 橋が建設された。その内訳は、主要道路沿い 100 橋に対して 114 橋 (目標の 114%)、ローカル道路沿い 400 橋に対して 24 橋であった。
- ・吊り橋は、吊り橋課と地方開発省 (Ministry of Local Development) によって実施された。

建設に関する資金の状況は下記の通りであった。

- ・総予算 12,329 million Rs (ネパール国資金 7,872.8 million Rs、外国援助 4,456.2 million Rs) に対して、12,179.7 million Rs を消化した。

表 2.1-7 8th Plan 期間の道路開発計画 (1992 - 97)

Year	Length of Road (km)				Road Ownership km per 10000 people	Road Density km per 100sq.km
	Black Topped	Gravelled	Earthen	Total		
1992	3164	2243	3444	8851	4.65	6.01
1997	3655	3011	5048	11714	5.41	7.96
Increment	49	768	1604	2863	0.76	1.95
Increment Percentage	15.5	34.2	46.6	32.3	16.2	32.3
Increment Percentage Per Year	3.1	6.8	9.3	6.5	3.2	6.5

Source : Department of Roads

表 2.1-8 8th Plan 期間 (1992 - 97) における道路建設の進捗状況

S.No	Classification of Road (道路の区分)	Physical Target / Progress according to category (km)				
		Black-topped (舗装)	Gravelled (砂利道)	Earthen (土道)	Total	
					Length	Progress %
1.	Highway Target	48	149	566	763	61.7
	Progress	44	66	361	471	
2.	Feeder Target Road	89	205	621	915	53.2
	Progress	1	106	380	487	
2.1	Target Feeder road to Highway Progress		18	336	354	76.3
			14	256	270	
2.2	Important Development Project, Road assisting Development of Economic and tourism sectors target Progress		64	155	219	22.4
			20	29	49	
2.3	Other feeder Road target Progress	89	123	130	342	49.1
		1	72	55	168	
3.	Urban Road target Progress	50	25	25	100	134
		74	59	1	134	
4.	Total Target Progress	187	379	1212	1778	61.4
		119	231	742	1092	
	Progress percentage	63.6	60.9	61.2	61.4	
5.	Progress of Road no mentioned in Eighth Plan	372	537	862	1771	
6.	Total Progress of Eight Plan km Percentage	491	768	1604	2863	
		262.6	202.6	132.3	161.0	

## ② 9th Plan の目標

主要な目標は次の通りである。

- ・ 全国の運輸システムの開発
- ・ 農業用道路ネットワークの開発
- ・ 貧困および地域格差是正のための遠隔地道路の建設
- ・ 道路ネットワークが整備されていない地域への信頼ある航空サービスの提供

## ③ 9th Plan の実施戦略

- ・ 交通密度が高い、または重要な道路の質の向上
- ・ 東西ハイウェイの完成
- ・ 重要水力開発プロジェクト、観光地および灌漑プロジェクトにつながる道路の建設
- ・ 低密度交通道路に関する最小のコストによる維持・補修
- ・ 日交通量に基づく道路の規格向上。すなわち、丘陵地で 50 台、テライ平野で 150 台の道路を土道から砂利道へ。丘陵地で 100 台、テライ平野で 250 台の道路を砂利道から舗装道路に。
- ・ ハイウェイ、その他道路の荷重の制限
- ・ 都市内道路での交通事故および環境汚染の制御のように交通管理システムの開発
- ・ 数次に亘る都市道路開発マスタープランの各段階で建設した追加家屋や用地取得上の問題の解決

## ④ 9th Plan の実施プログラム

9th Plan の期間中に次の地区が道路で結ばれる。

- ・ Achham-Mangalsen (Sanfebagar-Mangalsen)
- ・ Rukum-Musikot (Rapti Highway)
- ・ Jumla-Jumla (Karnali Highway)
- ・ Bajura-Martadi (Sanfebagar-Martadi)
- ・ Darchula-Darchula (Mahakali Highway)
- ・ Jajarkot-Chhinchu (Jajarkot Highway)
- ・ Sankhuwasabha-Khandbari (Basantpur-Chainpur-Khandbari)
- ・ Bhojpur-Bhojpur (Nadarmuni-Thulung Road)
- ・ Okhaldhunga-Okhaldhunga (Okhaldhunga-Katari)
- ・ Bajhang-Chainpur (Khodpe-Bajhang)
- ・ Ramechhap-Manthali (Khimti-Manthali-Ramechhap,, Pushpalal Road)



- ・ Kalikot-Kalikot (Karnali Highway)

また、次の内容の建設、補修が挙げられている。

- ・ 557km の道路の建設と 819km の道路の規格向上
- ・ 87 橋の自動車用橋梁の建設

交通管理に関するプログラムは次の通りである。

- ・ 交通技術課 (Traffic Engineering Unit) の新設
  - : 運輸管理局 (DTM) 内に設置
  - : 道路標識、信号機の建設、維持管理
  - : ドライバー、交通警察および道路使用者の教育、訓練
- ・ 交通に関する調査と実施
  - : 20 年の運輸管理マスタープランの作成
  - : 都市の交通基盤整備に関するマスタープランの作成
  - : 都市開発プログラムに基づき、都市道路の維持補修計画、市の役割の明確化
  - : 環境汚染の低減を考慮した交通システムの開発
  - : 特にカトマンドゥ盆地や他の都市の交通問題の調査
  - : 交通事故発生地地図の作成と防止策の研究、確立
  - : 自動車公害の防止、制御

## (2) PIP の概要

1994 年に策定された DOR Strategy (道路局施策) を基に、1997 年に策定された。主要幹線道路ネットワークと地方交通ネットワークの道路新設、改良・リハビリ、維持管理に至るすべての道路事業について、今後の 10 年間 (第 9 次・第 10 次 5 ヶ年計画期間) に実施すべき施策を取りまとめている。

計画では今後 10 年間に年間約 350km ペースの舗装修繕等の周期的管理 (Periodic Maintenance)、カトマンドゥへのアプローチ道路の改良 (ナウビセバイパス、アルニコハイウェイの 4 車線化)のほか、カトマンドゥ～ヘタウダ道路の新設、9 路線 (約 880km?) の山岳部補助幹線道路新設、維持管理強化方策、財源対策など提案している。

### 2.1.3 ドナー国・機関等の援助動向

The Ninth Plan で計画している世銀および ADB からのローンによる道路の建設、規格向上、改良の延長を表 2.1-9 および表 2.1-10 に示す。表 2.1-9 は世銀のローンによるもので、プロジェクト名は道路維持開発プロジェクト (RMDP)、表 2.1-10 は ADB のローンによるもので、プロジェクト名は第 4 次道路改良プロジェクトである。

表 2.1-9 世銀の援助による道路維持開発プロジェクト

S.No.	Name of Road	Length in km
<b>A.</b>	新設	
1.	Baitadi-Darchula	60
2.	Sanfebagar-Martadi	41
3.	Sanfebagar-Mangalsen	27
4.	Surkhet-Jumla	100
5.	Baglung-Beni-Jomsom	70
	Total	298
<b>B.</b>	規格向上	
1.	Baitadi-Darchula	60
2.	Surkhet-Jumla	69
3.	Gorusinge-Sandhikhark	60
4.	Baglung-Beni-Jomsom	16
	Total	205
<b>C.</b>	改築、改修	
1.	Tansen-Syangja	42
2.	Nepalgunj-Bagauda	46
3.	Harthok-Tamghas	62
4.	Lumbini-Taulihawa	22
	Total	172
<b>D.</b>	定期的メンテナンス (第 1 次)	
1.	narayani Bridge-Tiger Mountain	35
2.	Tiger Mountain-Aurung Khola	15
3.	Pokhara-Sandh Bridge	15
4.	Pokhara-Sarangkot	5
	Total	70
	Ground Total	745

表 2.1-10 ADB の援助による第 4 次道路改良プロジェクト

A.	各地区を結ぶリンク道路		
	Name of Road	Length	Remarks
1.	Basantpur-Chainpur-Khandbari	65	GTZ/KFW Joint Cooperation
2.	Hile-bhojpur	60	
3.	Okhaldhuga-Diktel	120	
4.	Lamahi-tulsipur Road Bridges		Included in 3rd Road Improvement Project but not completed due to lack of budget
	Total	245	
B.	カトマンドゥ盆地アクセス道路		
1.	Ringroad-Naubise Alternative Road	26	To include in construction of First Phase
	Total	26	
C.	改築、改修		
1.	Phidim-Taplejung	85	
2.	Damak-Gaurigunj	22	
3.	Biratnagar-Rangeli-dayniya	30	
4.	Kathmandu Ringroad	14	
5.	Panchkhal-Melamchi	23	
6.	Dolalghat-Chautara	25	
7.	Urlabari-bardanga	34	
8.	Dadeldhura-Patan-Satbanjh	59	
9.	Bauddha-Budhanilkanth	10	
	Total	302	
D.	定期的メンテナンス		
1.	Belbari-Choharwa	104	
2.	Trishuli-Dhunche	64	
	Total	168	
	Ground Total	741	

既往の各国・機関の援助の動向は表 2.1-11 の通りである（木全専門家報告書 平成 11 年 12 月現在）。

表 2.1-11 各国・機関の援助動向

	区 間	延 長	実施年
インド	Tribhuvan Highway (Kathmandu to Bhainse)	L=114km	1952～1956
	Kathmandu - Trisuli	L=68km	1957～1963
	Sunauli Pokhara Road	L=181km	1964～1972
	Kakarbhittaa - Dhalkebar (East West Highway)	L=258km	1967～1974
	Butawal - Kohalpur (EWH)	L=236km	1973～1985
	Kohalpur - Mahakali (EWH)	L=204km	1973～
アメリカ	Bhainse - Raxaul	L=71km	1958～1967?
	Hetauda - Narayangarh (EWH)	L=78km	1958～1967
	Dhanagadi - Dandeldhura	L=135km	1967～1979
	Rapti integrated Road Project	L=201km	1980～1986
	Pathalैया - Hetauda (EWH)	L=26km	1958～1967?
中国	Kathmandu - Kodari (Arniko Highway)	L=114.5km	1963～1967
	Naubise - Pokhara	L=174km	1967～1974
	Narayangarh - Mugling	L=36km	1978～1982
	Ambukhaireni - Gorkha	L=25km	1978～1982
	Pokhara - Baglung	L=71km	1988～1994
	Kathmandu Ring Road	L=26km	1972～1974
	Arniko Highway sector4		1982～1985 1991～1993
旧ソ連	Pathalैया - Dhalkebar (EWH)	L=109km	1967～1972
イギリス	Narayangarh - Butawal (EWH)	L=115km	1969～1975
	Dharan - Dhankuta	L=55km	1976～1984
	Dharan - Jogbani	L=50km	1956～1966?
	Dharan - Jogbani		1992～1995
	Malekhu - Mugling	L=40km	1986～1992
	Eastern Region Road Maintenance Program (EROM)		1990～
スイス	Lamosangu - Jiri Arniko Highway Maintenance Project	L=110km	1974～1984
ドイツ	Malekhu - Dhading		1998～
世銀 ローン	Lamahi - Tulsipur	L=47km	1973～1980?
	Karnali Bridge	500m	1983～1993
	Thankot - Naubise	L=17km	1978～1982 1992～1994
	Naubise - Malekhu	L=44km	1986～1992
	Arniko Highway sector3		1990～1993
	EWH eastern sector		1992～1994
	Mugling - Satrasayafant		1994～1995
	Satrasayafant - Khairenitar		1995～
	Tribhuvan Highway (RMRP)		1994～
	fourth highway road improvement project		
A D B ローン	Hetauda - Narayangarh	L=78km	1978～1982
	Charali - Ilam	L=78km	1987～1989
	Bhatkanda - Doti	L=67km	1990～1994
	Godawari - Bhatkanda		1987～1994
	Silgari - Sanfebagar		1993～1996
	Khairenitar - Pokhara (RMRP)		1992～1994
	Lamahi - Tulsipur	L=47km	1996～
	third road improvement project		

#### 2.1.4 我が国の援助動向

ネパールの道路部門に対して日本が援助を実施したあるいは実施中の事業は以下の通りである（木全専門家報告書 平成 11 年 12 月現在）。

- ・道路建設計画（機材供与） : 実施済み
- ・シンズリ道路建設計画 : 実施済み
- ・カトマンドゥ市内橋梁架け替え計画フェーズ 1 : 実施済み
- ・カトマンドゥ都市交通計画調査（M/P、F/S 調査） : 実施済み
- ・カトマンドゥ市内橋梁架け替え計画フェーズ 2 : 実施済み
- ・シンズリ道路建設計画アフターケア調査（F/S 調査） : 実施済み
- ・カトマンドゥ市内橋梁架け替え計画フェーズ 3 : 実施済み  
（新バグマティ橋建設計画）
- ・シンズリ道路建設計画（第 1 工区）基本設計調査 : 実施済み
- ・シンズリ道路建設計画（第 4 工区）基本設計調査 : 実施済み
- ・シンズリ道路建設計画（第 1 工区） : 実施済み
- ・シンズリ道路建設計画（第 4 工区、フェーズ 1） : 実施中
- ・シンズリ道路建設計画（第 2 工区）基本設計調査 : 実施予定
- ・シンズリ道路建設計画（第 4 工区、フェーズ 2） : 実施予定
- ・カトマンドゥ市内交差点改良予備調査 : 実施予定
- ・カトマンドゥ・ナウビセ道路建設計画（F/S 調査） : 実施予定